

学部生・大学院生 対象

なかべ
令和4年度 中部奨学会 給与・貸与奨学生の募集について

【出願資格】

人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者

【推薦人数と奨学月額】

- | | | | |
|------------|-----|-------------|---------------|
| (1) 学部生 | 各学部 | 貸与 8名・支給 4名 | 〈月額 35,000 円〉 |
| (2) 修士課程 | 各学院 | 貸与 4名・支給 2名 | 〈月額 60,000 円〉 |
| (3) 博士後期課程 | 各学院 | 支給 6名 | 〈月額 60,000 円〉 |

※他の奨学金との併給可

※貸与・支給期間：令和4年4月から最短修業年限

【提出書類】

- (1) 奨学生願書（財団HPにてWeb出願をし、その内容を印刷して提出）
- (2) 推薦所見（コース長または指導教員に依頼すること。）
- (3) 成績証明書
- (4) 家族状況等調書（学内選考資料）
- (5) 親権者の所得に関する証明書（コピー可）
 - a. 給与所得者は源泉徴収票（令和3年分）
 - b. 営業・農業・その他所得者は確定申告書（令和3年分）
 - c. 年金・恩給等受給者は年金の源泉徴収票または支払通知書の写（1年分）
 - d. 児童扶養手当受給者は児童扶養手当証書の写し
 - e. 雇用保険受給者は雇用保険受給資格者証の写し（受給期間及び受給額の記載があるもの）
 - f. 生活保護受給者は市区町村発行の生活保護受給者証明書
 - g. 身体障害者手帳があればその写し

※財団HPで概要、出願手順を確認し、願書を入力・印刷すること。

<https://nakabe-foundation.org/>

【提出期限】

令和4年4月26日（火）17：00まで

【提出場所】

工学系事務部教務課学生支援担当（③番窓口）

令和4年 4月 20日
工学系事務部教務課学生支援担当

2022年度（令和4年度）^{なかべ}中部奨学会奨学生募集要項

中部奨学会では、以下の募集要領により、2022年度奨学生を募集します。

1. 応募資格

大学学部・大学院に在籍する学生（学年は問わない）で人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由（独立行政法人日本学生支援機構が実施する第二種学資金の対象となる者と同程度）により著しく就学が困難な者

2. 募集人員

支給生	大学院博士後期課程	6名
	大学院博士前期課程	2名
	大学（含短期大学）	4名
貸与生	大学院博士前期課程	4名
	大学（含短期大学）	8名

3. 募集期間

2022年4月1日（金）より5月10日（火）まで

4. 奨学金の額（月額）

大学院博士後期課程	60,000円（支給）
大学院博士前期課程	60,000円（支給・貸与）
大学（含短期大学）	35,000円（支給・貸与）

5. 奨学金の貸与・支給の期間

2022年4月から、在学期間における最短修業年限の終期まで

6. 提出書類

1) 奨学生願書

2) 奨学生推薦調書

① 在学校長等の推薦書：書式は自由ですが、以下の項目は必ず記入して下さい

宛名：公益財団法人 中部奨学会 理事長 宛

被推薦者（出願者）の氏名

被推薦者（出願者）の在学名、学部、学科あるいは研究科、専攻、学年等

推薦所見、推薦文

在学名・学長（学長）名の記名・押印

② 成績証明書

新入生：出身学校あるいは出身課程の成績証明書

在学学生：在籍する大学あるいは課程の成績証明書

3) 2021年分の収入に関する証明書類（源泉徴収票又は確定申告書（写し可））

7. 書類提出方法および期限

提出方法：在学奨学金担当部署から郵送にて出願願います。

提出期限：2022年5月10日（火）必着

裏面へ続く→

8. 採用者決定および通知

2022年6月下旬までに選考委員会にて採用を決定し、応募大学（奨学金ご担当部署）あてに採否を通知します。

9. 貸与金返済方法など

奨学金（貸与金）の返還は、貸与終了1年後から開始し、15年以内に完済していただきます。返還期間は選択できます。

貸与奨学金は無利息です。

支給生については返還の必要はありません。

10. その他

当会奨学規程によります。

ご不明な点につきましては、中部奨学会ホームページ「お問い合わせ」よりご連絡ください。

11. 募集事務取扱

公益財団法人 中部奨学会 事務局
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030 番地
神奈川工科大学 総務課 内
ホームページ : <https://nakabe-foundation.org/>

以上

『奨学生願書』出願にあたっての注意事項

被推薦者本人が事前に Web で出願して出願内容を印刷した「奨学生願書」を貴学に提出、貴学の作成に係る奨学生推薦調書・成績証明書添付の上、当会あてご送付ください。

※Web 出願手続きについて

被推薦者本人が当会ホームページにて、指示に従い必要事項を入力し提出用の「奨学生願書」を印刷します。(詳しくは以下の Web サイト内 Q&A 等をご参照下さい。)

中部奨学会ホームページ：<https://nakabe-foundation.org/>

=参考『入力上の注意事項』=

1. 希望する応募区分を選択してください。
大学院博士前期課程および大学（短期大学）学部生の方で、支給生に採用されなかった場合でも貸与を希望する場合（あるいはその逆の場合）には、支給生・貸与生の両方に応募可能です。その場合には応募区分「支給生又は貸与生」を選択してください。
2. 在籍校情報欄で本人の入学および卒業・修了予定日を入力して下さい。
3. 年を記入する場合は「西暦」（2020年等）で入力してください。
4. 同一生計者の家族欄
◇家族数（本人を含む）：同一生計者の人数（本人を含む）を入力して下さい。
◇上記の内収入のある家族数：本人に収入がある場合は、本人も含む人数を入力して下さい。
◇本人に収入がある場合には本人を含めた、収入のある家族について収入の多い順4名に関し、所得金額（税込）欄に各人の2021（令和3）年分源泉徴収票、あるいは確定申告書を確認の上、金額を入力し、その源泉徴収票、あるいは確定申告書（写し可）を添付・提出してください。
5. 参考事項欄
◇本人の1か月あたり平均収支
奨学金を希望する本人の1ヶ月平均の収入（家族から、アルバイト等から、奨学金から、その他）と支出（生活費、交通費、学校納付金、書籍・学用品、その他）を入力してください。
※奨学金とは現在受給中の奨学金の月額金額
※学校納付金とは、申請年度に在学学校へ納める1年の総額を12で割った金額
6. 本人及び連帯保証人は、各自がそれぞれ署名捺印をし、印鑑は別々の物を使用してください。

裏面へ続く→

推薦調書作成について

「推薦調書」とは、「在 schools 長等の推薦書」と「成績証明書」の両書類を指しております。

1. 「在 schools 長等の推薦書」について

推薦書の書式は自由ですが、以下の項目は必ず記入してください。

- ① 宛名：公益財団法人 中部奨学会 理事長 宛
- ② 被推薦者（出願者）の氏名
- ③ 被推薦者（出願者）の在 schools 名、学部、学科あるいは研究科、専攻、学年等
- ④ 推薦所見、推薦文
- ⑤ 在 schools 名、 schools 長（学長）名の記名・押印

2. 「成績証明書」について

新入生は出身 schools （課程）の成績証明書を、在 students は在 schools （課程）の成績証明書を
ご用意ください。

以上

な か べ し ょ う が く か い
公益財団法人 中部奨学会

出願のしおり

(公益財団法人中部奨学会奨学規程)

公益財団法人中部奨学会は、我国水産業の先覚者中部幾次郎翁の
顕徳事業の一環として翁の意志を体して育英事業を行う為、翁の恩
顧を被り、私淑する者の出捐に依り、優秀なる学徒にして経済的理
由の為修学困難な者に学資を支給又は貸与して教育の機会均等をは
かり社会の健全な発展に貢献しようとする目的のもとに設立された
財団法人中部奨学会を基礎として設立された育英機関である。

公益財団法人 中部奨学会 事務局

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030 番地
神奈川工科大学 総務課 内

ホームページ : <https://nakabe-foundation.org/>

公益財団法人中部奨学会奨学規程

(奨学生の資格)

第 1 条 本会が学資を支給又は貸与する学徒は、高等学校以上に在学し、品行方正、身体強健で下記の条件を有する者でなければならない。

(1) 学資を支給する学徒は、学術成績抜群なる者及び別に定める資格を有する短期大学、大学および大学院に在学する学生とする。

(2) 学資を貸与する学徒は、学術優秀にして学資の支弁が困難と認められる高等学校以上に在学する学生とする。

2. 本会から学資の支給又は貸与を受ける学生をそれぞれ奨学支給生又は貸与生(以上を奨学生と総称する)といい、支給又は貸与する学資をそれぞれ奨学支給金又は貸与金(以上を奨学金と総称する)という。

(奨学金の額)

第 2 条 奨学金の額は次の区別により定めるものとし、本人の希望、家庭の事情などを参酌して決定する。

(1) 高等学校又はこれと同程度の学校の奨学生

(2) 大学、短期大学又はこれと同程度の学校の奨学生

(3) 大学院又はこれと同程度の学校の奨学生

奨学金金額については、下記の通りとする。

高等学校奨学生	月額	20,000円(貸与)
大学・短期大学奨学生	月額	35,000円(支給・貸与)
大学院(博士前期課程)奨学生	月額	60,000円(支給・貸与)
大学院(博士後期課程)奨学生	月額	60,000円(支給)

(支給又は貸与の期間)

第 3 条 奨学金を支給又は貸与する期間は、高等学校、短期大学、大学、および大学院(博士前期・博士後期)の正規の就学期間とする。

(申請手続)

第 4 条 奨学生志望者は在学学校長の推薦を受け、所定の次の書類を提出して申請しなければならない。

(1) 奨学生願書

(2) 奨学生推薦調書

2. 奨学生願書には、連帯保証人が連署しなければならない。連帯保証人は、原則として本人の父母、成年者たる兄弟又はこれに代る者とする。

(奨学生の決定)

第 5 条 奨学生は奨学生選考委員会の選考を経て理事会で決定する。

(学業成績の届出)

第 6 条 奨学生は、在学学校長を経て毎学年末学業成績表を提出しなければならない。

(在学中の異動届出)

第 7 条 奨学生は、次の場合には連帯保証人と連署して、在学学校長を経て直ちに届出なければならない。但し、本人が疾病その他事故のため届出ることができないときは連帯保証人から届出なければならない。

(1) 休学、復学、転学又は退学したとき

(2) 本人、連帯保証人の身分、住所その他重要な事項に異動のあったとき

(奨学金の交付)

第 8 条 奨学金は、毎月奨学生に交付する。但し、特別の事情あるときは更に数月分を併せ交付することがある。

第 9 条 特別の事情が生じたときは、奨学金の額を変更することがある。

2. 奨学生は、何時でも在学学校長を経て奨学金の減額又は辞退を申し出ることが出来る。

(奨学金の休止)

第 10 条 奨学生が休学したときは、その期間奨学金を休止する。

(奨学金の復活)

第 11 条 前条の規程により奨学金の交付を休止又は停止された者が、その事由が止んで在学学校長を経て願い出たときは、奨学金の交付を復活することがある。

(支給又は貸与期間の短縮)

第 12 条 奨学生の学業成績の状況により、奨学金の支給又は貸与期間を短縮することができる。

(奨学金の停止又は廃止)

第 13 条 奨学生が次の各号の一に該当すると認められるときは、奨学金を停止又は廃止する。

(1) 傷痍、疾病などのために生業の見込みがないとき

(2) 学業成績又は操行が不良となったとき

(3) 奨学金を必要としない理由が生じたとき

(4) 休学、転学が適当でないとき

(5) その他奨学生として適当でないとき

(奨学貸与金の返還)

第14条 奨学貸与金は卒業の月の1年後から15年の期間にその全額を月賦、半年賦、又は年賦で返還しなければならない。

第15条 奨学貸与生が次の各号の一に該当したときは、その月の1年後から前条に準じ奨学貸与金を返還しなければならない。

- (1) 退学
- (2) 奨学貸与金の辞退
- (3) 奨学貸与金の廃止

2. 奨学貸与生が死亡したとき、その他特別の事情あるときは、別段の返還方法を指示する。

(借用証書)

第16条 奨学貸与生が卒業し又は前条の各号の一に該当したときは、連帯保証人と連署して、在学学校長を経て、所定の借用証書を提出しなければならない。但し、連帯保証人は独立の生計を営む者でなければならない。

(卒業後の異動届)

第17条 奨学貸与生であった者は、奨学貸与金返還完了前に本人、連帯保証人の身分、住所、職業、その他重要な事項に異動があったときは直ちに届出なければならない。但し、本人が疾病などのため届出ることができないときは、連帯保証人又は家族が届出なければならない。

(返還猶予)

第18条 奨学貸与生であった者が、疾病その他正当な事由のために奨学貸与金の返還が困難になった場合は、その事由に応じてそれぞれ証明することのできる書類を添付し連帯保証人と連署のうえ、奨学金返還猶予願を提出しなければならない。

第19条 奨学金の返還猶予の願出があったときは、実状に応じ理事長が返還の猶予期間を指示する。

(延滞利息)

第20条 正当と認められる事由がなくて奨学貸与金の返還を遅延したときは、延滞利息を徴収する。

(死亡の届出)

第21条 奨学貸与生が死亡したときは、連帯保証人は死亡診断書、及び奨学金借用証書を添え在学学校長を経て、直ちに届出なければならない。

2. 奨学貸与生であった者が奨学金返還完了前に死亡したときは、連帯保証人又は遺族は戸籍抄本を添えて、直ちに届出なければならない。

(返還免除)

第22条 奨学貸与生又は貸与生であった者が奨学金返還完了前に死亡し、又は不具もしくは身体の機能に著しい傷害を生じて労働能力を喪失し、その奨学金の返還未済額の全部又は一部について返還不能となったとき、その他特に必要があるときはその全部又は一部の返還を免除することがある。

(返還免除の願出)

第23条 奨学金の返還免除を受けようとするときは、本人又は相続人は、連帯保証人と連署のうえ、次の各号の書類を添付し奨学金返還免除願を提出しなければならない。

- (1) 死亡による場合は戸籍抄本、不具廃疾による場合はその事実及び程度を証する医師の診断書
- (2) 返還不能の事実を証する書類

(返還免除願出の期限)

第24条 奨学金返還免除願は、返還不能の事由が生じたときから1年以内に提出しなければならない。但し、特別の事情があったと認められるときは、更に1年以内その期限を延長することができる。

(返還免除の決定)

第25条 奨学金返還免除の願出があったときは、理事会において審査決定し、その結果を本人、相続人、又は連帯保証人に通知する。

2. 貸与奨学生のうち品行方正、学術優秀顕著と認める者に対し返還金の2分の1まで減額することができる。

(実施細目)

第26条 この規程の実施に関して必要な事項は理事会において決定する。

- 附 則
1. この規程は、平成12年4月1日から実施する。
 2. この規程の一部改正は、平成17年4月1日から実施する。
 3. この規程の一部改正は、平成24年4月1日から実施する。
 4. この規程の一部改正は、平成29年4月1日から実施する。
 5. この規程の一部改正は、令和2年4月1日から実施する。

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 _____

学生番号 _____

氏名 _____ 所属(学部等) _____ 年 _____

生年月日・年齢・性別 _____ 年 _____ 月 _____ 日生(歳)(男・女)

携帯 _____ 連絡希望メールアドレス _____

本人住所 _____

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(_____ 年 _____ 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(_____ 年 _____ 月) 就労見込(有・無)

■本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	

単位: 万円

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(_____ 人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

2 年

生年月日・年齢・性別 **1993年 1月 1日生(20歳)(男・女)**

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、*欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
父	北大 一郎	55	会社員	××株式会社	同居・別居			
母	北大 花子	52	パート	〇〇スーパー	同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(年 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(年 月) 就労見込(有・無)

■本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
弟	北大 二郎	20	私立 北海大学	1	自宅・自宅外	
妹	北大 花江	17	公立 札幌高校	2	自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

2 年

生年月日・年齢・性別 **1993年 1月 1日生(28歳)(男・女)**

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、*欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
本人	北大 太郎	28			同居・別居			
妻	北大 花子		正社員	〇〇株式会社	同居・別居	※配偶者がいない場合には記載しない		
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(年 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(年 月) 就労見込(有・無)

■本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
長男	北大 次郎	7	市立 〇〇小学校	小学1年生	自宅・自宅外	※就学者がいない場合は記載しない
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

※日本人の独立生計者の場合は提出して下さい※

同意書

下記の質問項目に✓(チェック)を付けて下さい。

- 学生本人(及び配偶者)の親権者(父母等)と別居しています。
- 親権者等の「控除対象扶養親族」に学生本人の記載はありません。
- 親権者からの生活費等の仕送りはありません。
- 学生本人の収入もしくは配偶者の収入もしくはその両方の収入(子供を含む)により生計をたてています。
例)国民健康保険また社会保険に加入し、学生本人の収入もしくは配偶者の収入で保険料を支払っている。

4月以降に独立生計者になる場合は理由詳しくを記載して下さい。

<理由>

私は、この情報に間違いはございません。

※ 全てに✓(チェック)がつかない場合は独立生計者として認めることが出来ません。

※ 4月以降に独立生計者となる場合は、例外とします。

申請奨学金名

所属(学部等)

学生番号

氏名

同意書の項目に全部✓(チェック)がついたまたは理由を記載した方は

学内選考用資料については

- ・ 家族状況報告書
→独立生計者の記入例を参考にして記載して下さい。
- ・ 所得に関する証明書
→学生本人または配偶者の収入が分かる源泉徴収票もしくは確定申告書

2点を提出して下さい

- ※ 財団からの願書等で家族状況を記載する場合がございますが、「家族の状況(同一生計の家族)」となっている場合は、同一生計ではない親族の記載はしないで下さい。
- ※ 配偶者がいる場合は、「家族の状況(同一生計の家族)」に配偶者の情報を記載して下さい。(子供がいる場合も配偶者と同じように記載して下さい)